

支援ネットワークが発足

昨年9月には、災害グループ(10団体)で廃棄物の処理を支援するためのネットワーク

「D・Waste-Net」が発足した。

同ネットワークは、(国研)国立環境研究所

▽(公社)地盤工学会▽学識者などの団体の組織する支援者グループ

▽(財)日本環境衛生センター▽(社)日本廃棄物処理業者などの団体の組織する民間事業者団体

▽(公財)資源循環学会▽(公財)3R研究財団▽(社)環境衛生施設



9月16日には発足式が行われた

設維持管理業協会▽(公社)全国産業廃棄物連合会▽(一社)日本環境衛生施設工業会▽(公社)全国解体工事業団体連合会▽(一社)日本建設業連合会▽(一社)セメント協会▽(一社)泥土リサイクル協会▽日本貨物鉄道▽日本内航海運組合連合会▽リサイクルポータル推進協議会の17団体となった。

支援者グループは、過去の災害における取組の整理・分析や最新の科学的・技術的知見の整理などを行う。発災時には、現地での処理業務や処理実行計画策定などを支援する。民間事業者団体グループは過去の災害における取り組みやノウハウの整理に加え、処理支援のための体制整備、自治体との連携・協力体制の構築などを行う。発災時には、人材や資機材の確保などの現地支援を行う。

自治体は、地域ブロック協議会(地方環境事務所が中心となる)や同ネットワークの事務局を担う環境省を通じて各グループに支援を要請する。

常総市での災害廃棄物処理では、支援者グループの派遣が行われ、技術的助言や廃棄物調査等が実施されている。